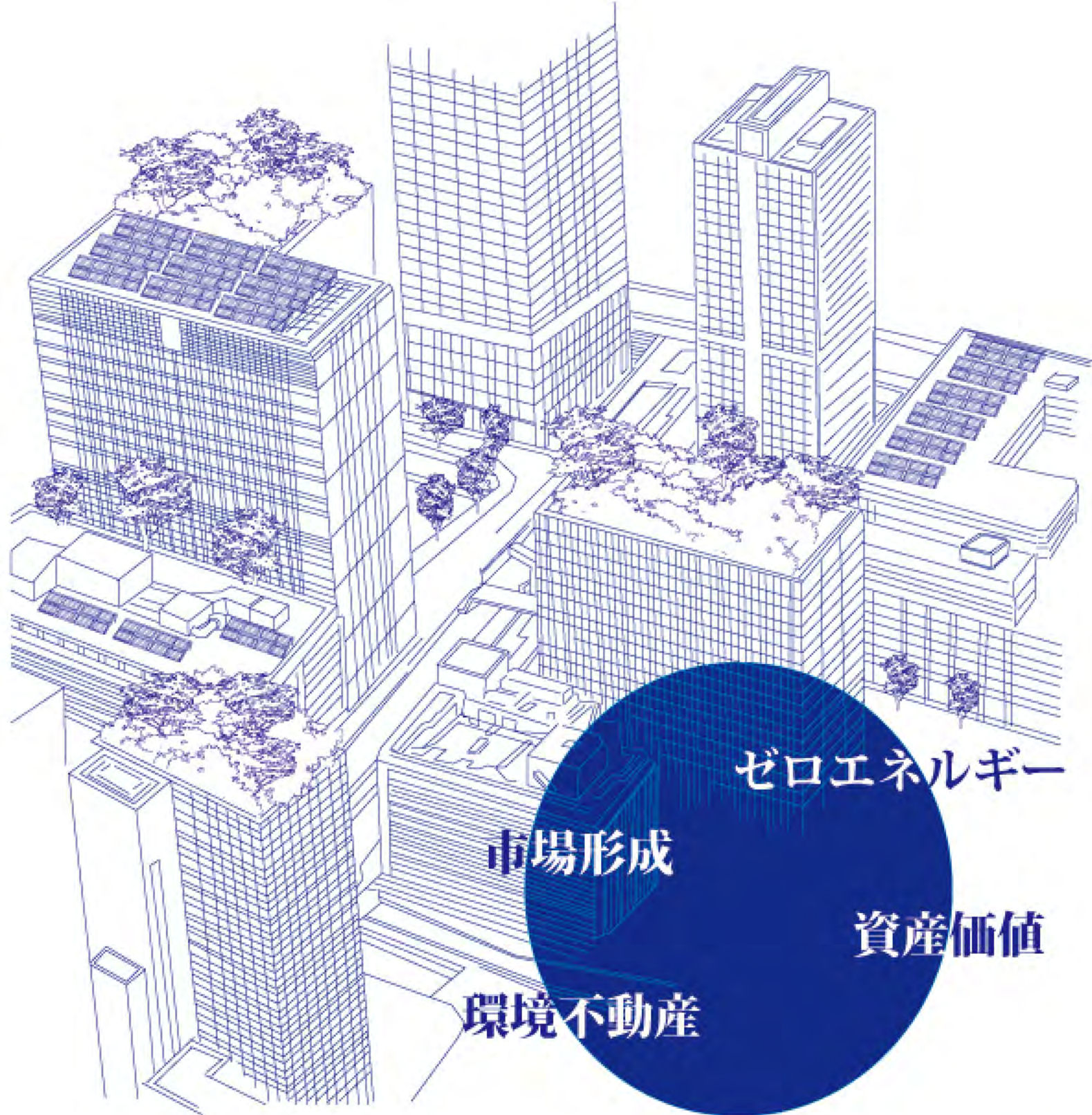


不動産市場で評価される サステナブルビルディング



EUは加盟各国に対して2020年頃には新築建物をnZEB (nearly ZEB) とすることを求めており、また、検討レベルではあるが、Energy Positive (発電量が消費よりも大きい) や Regenerative (建設前より環境が良くなる) Architecture といったさらに進めた概念も提案されている。これらの議論では、ハード技術のみならず、ラベリングを通じた市場形成、情報提供、グリーン電力取引制度、金融機関・商品との連携など、ソフト的な社会技術も総動員して実現を支援しようとしている。

本シンポジウムでは、よりよい環境性能を有したサステナブル建築が高く評価される社会を実現するために、我が国に求められる技術や社会・経済的枠組みについて議論したいと考えている。

2013.10.30.wed 14:00 - 18:00

会場：建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

参加費：会員 1000 円 非会員 1500 円 学生 500 円
(CPD 4 単位)

■プログラム

1. 論点整理・趣旨説明
2. 報告

- ①環境不動産市場の育成
- ②省エネルギー法改正後の建築物の省エネ評価・表示
- ③CASBEE 不動産マーケット普及版による評価
- ④DBJ グリーンビルディング認証による不動産市場の進化
- ⑤GRESB グローバル不動産サステナビリティベンチマーク
- ⑥不動産市場からみたサステナブルビルディングの評価

高口洋人 (早稲田大学 教授)

野城智也 (東京大学 教授)

坂本雄三 (建築研究所 理事長)

高井啓明 (竹中工務店)

安松志郎 (日本政策投資銀行)

堀江隆一 (CSR デザイン環境投資顧問)

内田輝明 (日本不動産研究所)

高口洋人 + 報告者

【主催】
日本建築学会関東支部

【企画協力】
地球環境委員会
サステナブルビルディング評価小委員会

参加のお申し込みは

こちらから

3. パネルディスカッション